

豊富な機種の中から、ご家庭にピッタリの給湯器を選びましょう。

Step. ① お湯はりの方法を選ぶ

生活スタイルに合った、給湯器が選べます。

給湯+強制追いだし

1台で浴室・シャワー・洗面所・台所へ給湯
プラスお風呂の追いだしができるタイプです。

離れた浴そう*への強制追いだしも可能です。

*オートタイプは15m、定量お知らせ機能タイプは10m。



オートタイプ
自動お湯はり

定量
お知らせ機能

給湯専用

1台で浴室・シャワー・洗面所・台所へ給湯ができるタイプです。

浴そうへは給湯栓でお湯を入れます。お風呂の追いだしはできません。



標準タイプ

スイッチポンでお風呂の準備OK。



減圧式 高圧力型 P4

減圧式 標準圧力型 P5

お湯はり完了をリモコンの音声またはブザーでお知らせ。



減圧式 標準圧力型 P6



減圧式 高圧力型 P7

減圧式 標準圧力型 P7

Step. ② 給湯出力を選ぶ

家族の人数に合わせて、必要な給湯出力が選べます。

4人家族以上なら
ハイパワーの
4万キロタイプ
45.3kW (39,000kcal/h)

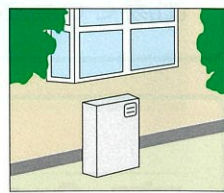
2人家族なら
経済的な
3万キロタイプ
37.8kW (32,500kcal/h)

Step. ③ 設置場所

このカタログに掲載の石油給湯器は、全て「前面排気タイプ」です。

住宅の外に設置
屋外 屋外設置型

■前面排気タイプ
前面から排気するので壁汚れの心配も少なく、出窓の下や、階段の下のデッドスペースにスッキリと収まります。



※ボイラー小屋などで囲まないでください。

Step. ④ 給湯圧力を選ぶ

減圧式 減圧弁により水道の圧力を減圧して給湯します。2つのタイプがあります。

減圧式の強制追いだしタイプは、2階浴そうへの追いだしはできません。

減圧式 高圧力型
高圧力(0.2MPa仕様)
圧力2倍で2階も快適、パワフルシャワー。

減圧式 標準圧力型
標準圧力(0.1MPa仕様)
基本機能充実!! 石油給湯器のスタンダードタイプ。

カタログ表示マーク一覧

快適機能
減圧式(高圧力) 高圧力型なので、シャワーのお湯の勢が強いです。勢い弱くなりやすい2階への給湯も可能です。
減圧式(標準圧力) 標準圧力型の給湯器です。
冷水緩和 再出湯時のシャワーが急に冷たくなる不快な「冷水サンドイッチ現象」を緩和します。

安心機能
1階浴そう 給湯器を1階に設置した場合、1階の浴そうのみ追いだしが可能です。
ハイパワー 冬場でも2ヶ所同時給湯や快適なシャワーを実現する大能力です。
タイムスタンプ 長期使用製品安全点検制度に対応し設計標準使用期間の経過をリモコンに警告「888」を表示してお知らせします。
ステンレスパイプ 給水・給湯・お湯はりパイプにステンレスを採用することで、高い耐久性を誇ります。※「減圧式 高圧力型」は上水道用です。
凍結予防 本体内の配管や減圧弁、循環ポンプ等を凍結から守ります。

eco機能 無駄な燃焼を抑え、灯油を節約します。
インターホン 別売のインターホンリモコンを使用すれば、台所リモコンと浴室リモコンで会話ができます。
オート リモコンのスイッチを押すだけでお湯はりから保温までおまかせ、お湯の量が減ったら、リモコンのスイッチを押せばお湯を止めます。

便利機能
予約 台所リモコンで設定した時刻に、お湯はり完了している予約運転ができます。
お湯はり 浴室リモコンのたし水スイッチを押すと、浴そうに約10L差し水をして、お風呂の湯温を少しぬくくします。
呼出 浴室リモコンの呼出スイッチを押すと、台所リモコンのブザーが鳴ります。

配管クリーン(自動) 浴そうの残水が循環口より10cm以上ある場合、残り湯を排水すると自動的に追いだし配管にきれいな水を流して残り湯を洗い流します。
配管クリーン(手動) 浴そうのお湯を排水した後、配管洗浄スイッチを押すと、追いだし配管内に残っているお湯をきれいな水で洗い流します。
配管洗浄 浴そうの残り湯に配管洗浄剤を入れ、浴そう内の湯(水)を循環させて配管を洗浄します。

減圧弁内蔵 減圧弁と逆し弁を内蔵し、水道直結で工事も簡単、配管もスッキリします。
ソーラー 太陽熱利用温水器との接続ができます。※機種により別売部品の追加等、接続に制限がありますのでご注意ください。

8年延長保証制度マーク

「長寿製作所8年延長保証制度」の対象機種です。詳しくは裏表紙をご覧ください。

省エネ性マーク

このマークは省エネ性(エネルギー消費効率及び省エネルギー基準達成率)の記載を明示するものです。商品をお選びになる時のご参考にしてください。「省エネルギー基準達成率」は、省エネ法に定められた2006年度の基準に対する達成率を示しています。達成率100%以上の場合は、マークをグリーンで表示しています。 ※高圧力型は対象外となります。

省エネルギー基準	用途	加熱形態	給排水方式・制御方式	区分名	目標基準値(エネルギー消費効率)
給湯用	貯湯式(急速加熱形)	—	—	B	87.0%